

4 令和5年度 事業計画（案）

- 1 第75回総会並びに研究協議会（京都大会）の開催
- 2 理事会（2回・zoom開催）、常務理事会（6回・事務所及びzoom）の開催
- 3 学習書関係
令和5年度以降使用の新課程学習書15科目のうち残り8科目（論理国語、文学国語、古典探究、地理探究、日本史探究、世界史探究、政治経済、論理・表現I）を編纂し、旧課程学習書も併せて60科目を発行する。
- 4 会員用に閉じられた、HPのサイトの活用として、調査研究に資する回答の提出につかう。また、会員相互の意見交換用、本部への意見具申の場としての掲示板の活用を推進する。
- 5 放送教育研究の推進
 - (1) 本部・地区の委員会、研究委嘱校、NHKとの連携を密にして研究を進める。
 - (2) 全通研放送教育研究委員会の活動
 - ・地区通研大会放送教育分科会への参加
 - ・委員対象の研修、会員対象の施設見学などの実施
 - ・地区委員長を交えた拡大放送教育研究委員会の開催
 - ・NHK放送教育研究委嘱校を交えた放送教育研究連絡協議会による情報交換
 - ・「全通研放送教育研究」第43号、「放送教育委員会だより」第60号の発刊
 - (3) NHK高校通信教育委員会への出席
 - (4) NHK放送教育研究委嘱校
研究成果発表校（京都大会） 向陽台高校（大阪府） 学悠館高校（栃木県）
研究活動1年目 高松高校（香川県） 大和中央高校（近畿地区）
研究活動2年目 鳥取緑風高校（鳥取県） 長野西高校（長野県）
- 6 全会員校に共通すると考えられる課題や各地区通研の要望等への各会員校の対応を調査研究する「通信制教育あり方研究委員会」の研究推進
- 7 通信教育の現在の課題解決や将来の発展に向けた研修会の実施
- 8 成果報告としての大会研究集録の発行など、情報発信としてのHPの充実、会員校連絡紙「全通研発」の年6回程度の発行、会員校名簿の作成、各通研大会等の開催の支援、会員・生徒の表彰、
- 9 通信制教育の充実・発展に向けて、文部科学省及法務省及び関係機関との連携・協力
- 10 定通教育関連団体等との連携
（公財）全国高等学校定時制通信制教育振興会、全国定時制通信制高等学校長会
全国高等学校定時制通信制教頭・副校長協会、全国私立通信制高等学校協会
日本通信制教育学会
- 11 定例の会議の外、必要に応じて、理事会・常務理事会・各委員会等をオンライン会議で実施する。